

# 事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

239

基礎学力向上事業

[長期総合計画]

分野別目標	3	子供たちがいきいきと育つまち
政策	2	社会を生き抜き子供たちの学力の育成
施策	1	確かな学力を育む教育の推進
取組方針	1	教育課程の充実と学力の向上

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計		一般会計	
	款		教育費	
	項		教育総務費	
	目		教育振興費	
	大事業		教育振興事業	
	中事業		基礎学力向上事業	

事業種別	継続		関連個別計画	和歌山市教育振興基本計画		
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	学校教育課	古田 清和 435-1139
事業実施の根拠法令			関連課			

## 1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	放課後の補充学習を行い、学力向上に向けた取組みを推進する。		放課後の補充学習を行い、学力向上に向けた取組みを推進する。 「紀州っ子学びノート」を活用し、小学生の読む力、書く力、伝え合う力を伸ばす。			
事業内容		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
		・コミュニティ・スクールを導入した。「放課後フォローアップ事業」で、さらなる学力の向上を図った。「紀州っ子学びノート」を市内全児童に配付し、各校で活用した。	放課後学習タイムの充実のために、学校の要請に応じて、教員OB等を配置し、児童の放課後の補充学習をフォローアップし、児童の学力向上を図った。	放課後学習タイムの充実のために、学校の要請におうじて、教員OB等を配置し、児童の放課後の補充学習をフォローアップし、児童の学力向上を図る。	放課後学習タイムの充実のために、学校の要請に応じて、教員OB等を配置し、児童の放課後の補充学習をフォローアップし、児童の学力向上を図る。	補充学習のために、学校の要請に応じて、教員OB等を配置し、児童の補充学習をフォローアップし、児童の学力向上を図る。

## 2 事業コスト

事業費等(千円)	平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度		令和03年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	11,787	10,633	9,966	11,302	6,534	5,175	4,312	0	4,312	0
伸び率(%)	92.5%	85.6%	△15.4%	6.3%	△34.4%	△54.2%	△34%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	7,338	7,737	8,472	6,954	7,169	7,330	7,330	0	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	7,338	7,737	8,472	6,954	7,169	7,330	7,330	0	0
国庫支出金	1,540	1,490	1,540	1,523	1,540	1,192	1,437	0	0	0
県支出金	633	247	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源(税等)	9,614	8,896	8,426	9,779	4,994	3,983	2,875	0	4,312	0
所要人数(人)	正規職員	0.92	0.97	1.06	0.87	0.89	0.91	0.91	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	報償金4,620千円、印刷製本費1,914千円(ほか)									

## 3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
活動指標	放課後学習等フォローアップ事業実施校	校	目標値	30	30	30	30	25
			実績値	18	19	18		
			達成度(%)	60%	63.3%	60%	%	%
成果指標	放課後学習等フォローアップ事業 学習支援員活用時間	時間	目標値	2100	2100	1760	1960	1750
			実績値	2070	2078	1608		
			達成度(%)	98.6%	99%	91.4%	%	%

#### 4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	○ 達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

#### 5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				○
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	補充学習及び「紀州っ子学びノート」は、子供の基礎学力向上のため、児童の課題に応じた活用が必要である。
見直し・改善内容	「紀州っ子学びノート」の内容の精選、改訂が必要である。